

# 第10回 日本再生歯科医学会シンポジウム

## テーマ：歯科再生療法のカッティングエッジ ～基礎、臨床から安全性の確保まで～

日本再生歯科医学会シンポジウムを「歯科再生療法のカッティングエッジ～基礎、臨床から安全性の確保まで～」のテーマで令和2年3月1日(日)、東北大学大学院歯学研究科・歯学部 大会議室にて開催することになりました。

今回4人の演者から、iPS細胞を用いた骨補填材(江草 宏先生)、リグロスによる歯周組織再生(山田 聡先生)、CGFによる骨再生(半田 慶介先生)、再生医療の現状及び法施行状況(原 総一郎先生)に関する講演をいただき、アカデミアのみならず、一般臨床医にとっても、大変意義深い企画をいたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

■世話役：東北大学大学院歯学研究科歯科保存学分野：教授 齋藤 正寛

日時 2020年3月1日(日) 13:00~16:00  
(開場12:30)

会場 東北大学大学院歯学研究科・歯学部  
C棟1階 大会議室  
〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町4-1

〈演者〉江草 宏先生 | 東北大学大学院歯学研究科  
分子・再生歯科補綴学分野 教授

### 細胞を利用した骨誘導性骨補填材の開発

骨補填材は高齢者など自家骨の採取が困難な患者に使用するケースが多く、高齢化に伴う需要増加が期待される。我々は、iPS細胞に特定の培養条件を与えることで骨様細胞塊を作り出し、これを凍結乾燥することで骨補填材を得る技術を見出した。本材料は、従来の骨補填材と比較して高い骨誘導能を示すだけでなく、細胞を人工骨の産生ツールとして用いた後に死滅化するため、生体由来材料を用いた医療機器としての開発が期待される。

〈演者〉半田 慶介先生 | 東北大学大学院歯学研究科  
歯科保存学分野

### CGFを用いた外科的歯内療法

Concentrated Growth Factor (CGF)は血小板や増殖因子を豊富に含む自己血由来のフィブリンゲルで、骨組織の再生が期待される。外科的歯内療法では根尖病変摘出後に骨欠損が残存する。そのためCGFが骨欠損部位の治癒を促進するか検証するため、東北大学を主施設とし東京医科歯科大学、大阪大学、新潟大学で多施設臨床共同研究を実施することとした。外科的歯内療法でCGFを用いる第3種再生医療等研究計画の申請から実施までの流れについて発表する。

〈演者〉山田 聡先生 | 東北大学大学院歯学研究科  
歯内歯周治療学分野 教授

### リグロスによる歯周組織再生医療

強力な血管新生作用と間葉系幹細胞の増殖能を有する塩基性線維芽細胞増殖因子(FGF-2)を用いた新しい歯周組織再生療法の研究開発の結果、2016年、世界初の歯周組織再生治療薬としてリグロス(FGF-2)が承認され、販売が開始された。本シンポジウムでは、歯周組織再生の生物学的原理と現状、さらに、リグロス(FGF-2)について、開発研究に関わった経験から、その作用機序に関わる基礎研究や臨床治験、今後の課題等についてお話ししたい。

〈演者〉原 総一郎先生 | 東北厚生局 健康福祉部  
医事課

### 再生医療の現状と手続きについて

平成26年11月に再生医療等の安全性の確保等に関する法律(平成25年法律第85号。以下「再生医療法」という。)及び薬事法等の一部を改正する法律が施行された。再生医療法は、再生医療等の迅速かつ安全な提供や普及の促進を図ることを目的としており、再生医療等(再生医療及び細胞治療)を臨床研究や自由診療として行う場合は、再生医療法の対象となる。施行から5年が経過し、再生医療の現状及び法施行状況等について報告する。

#### 参加費

一般 5,000円 学生 3,000円

◎当日、受付にて参加費を頂戴いたします。

■参加申込締め切り 2020年2月14日(金)

定員70名 早めに事前のお申し込みをお願いします。

会員以外の方でもご参加  
できます

お問い合わせ先 東北大学大学院歯学研究科・歯学部 歯科保存学分野 〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町4-1 TEL 022-717-8341 (担当:半田 慶介)

#### 申込送付先

お申し込みはFAXをお願いします

FAX 022-717-8344

※番号をお間違えないようご注意ください。

2020年3月1日(日) 第10回 日本再生歯科医学会シンポジウム 申込書

申込締切日:2020年2月14日(金)

フリガナ	※いづれかに○をして下さい		
氏名	一般	学生	E-mail
住所	〒		
TEL.	FAX.		

後ほど「お申込受領証」をFAXにて返信いたします。